

平成26年度 五泉市家庭科部 活動報告

部長 川上 美弥子

1 研究主題

授業研究及び研修や実習を通して、授業力の向上を図る。

2 研究の概要

第1回（4月） 年間活動計画の立案

第2回（6月） 食生活と栄養に関する講習会

第3回（9月） 授業研究「食生活について考えよう」（5年）

第4回（10月） 制作実習「生活に役立つエコバックを作ろう」（6年）

3 研究の実際

（1）食生活について考えよう

9月の研究授業に向け、指導内容に関する講習会を6月に行った。講師に市役所健康福祉課の小出美里様を迎え、「バランスの良い食事」をテーマに、示唆に富んだ指導をいただいた。主な内容は、以下の通りである。

- バランスの良い食事は、「赤」「青」「黄」の栄養素と、その量で決まる。
- 1食の摂取カロリーの黄金比率は、「主食：副菜：主菜＝3：2：1」
- ビタミンは体の調子を整え、免疫力やストレス耐性を高める効果もある。



研究授業は、大蒲原小学校5年高橋学級で行った。折しもJA新潟みらいの今年度の訪問校であったことから、JAの平原様に単元を通して協力をいただくことができた。

本時では、具体的な数値や視覚に訴える豊富な資料で、日本の食糧自給率の低さと、その向上に有効な「地産地消」について、分かりやすい指導が続いた。クイズやゲームも取り入れることで思考力も働き、児童の関心や課題意識がどんどん高まる姿を目の当たりにした。

また、社会科「食料生産を支える人々」や総合的な学習「米作り」との関連を図ることで、自らの食生活に目を向け、「お店では地元産の野菜を買う。」「食事を残さない。」「消費期限をよく見ておく。」などの行動宣言としてまとめることができた。

家庭生活の見直しが実践に生かされ、今後の変容が大いに期待される授業であった。



（2）生活に役立つエコバックを作ろう

6年「感謝の気持ちを伝えよう」での、卒業プレゼントの試作実習を行った。

教科書掲載の参考作品の中から、「エコ生活」の一環としてエコバックを選び、卒業前の限られた時間を考慮して、必要な材料がセットになっている教材を使用した。

全員がほぼ1時間で完成させ、厚地のひもやマチ部分の作業の困難さを共有したり、ミシンの効率良い使用方法などについて情報交換を行ったりすることもできた。



4 成果と課題

いずれも時代の要請に則し、内容や方法の明確な、実効性のある研究となった。見識に優れた外部の専門家の参画も、大変有効であった。今後も大いに協力を仰ぎたい。

児童が自らより良い家庭生活を目指すために、関心を引く教材や効果的な指導方法の共有、実践の見取や評価の工夫など、さらに授業力の向上を図っていきたい。